

2. 新てっぼうゆりの有望品種「銀河1号」(追補) —実生2年目の品種特性—

(園試野菜花き部)

「銀河1号」実生2年目の品種特性の知見が得られた。

開花率は高く、収穫本数1株当たり約1.5本で10a当り45,000本程度、収穫は、盆前に80~90%は収穫できる。適応地域県下全域県下全域。

(1) 背景とねらい

新てっぼうゆりの産地化をはかる上で品種選抜が急務であり、昭和56年に実生1年目の開花率が高く、品質的にも優れている銀河1号を有望品種として紹介したが、さらに本年実生2年目の特性について調査したので参考に供する。

(2) 技術の内容

1) 実生2年目の品種特性

(ア) 開花率は高いが収穫本数は中程度で1株当たり約1.5本で10a当り45,000本程度である。

(イ) 実生1年目に比べ草丈は高くなり、第2次花梗数は増加するが、花型・葉型等はほとんど変わらず品質的にすぐれる。

(ウ) 収穫期は7月中旬~8月中旬で盆前に80~90%は収穫できる。

2) 品種の育成元 タキイ種苗

3) 適応地域 県下全域

(3) 指導上の留意事項

1) 草丈が150cm以上となり、風害をうけやすいので、ネットは少なくとも2段は必要である。

2) 株立が多くなり、病害(特に葉枯病)が発生しやすいので薬剤散布はていねいに行なう。

3) 実生2年目は生育が旺盛となるため、基肥はひかえ目にして葉色が悪い場合は収穫7~10日前に葉面散布(尿素0.5%液)を行なう。

4) 例年、自然開花する7月~8月上旬は切花単価が安い場合が多いので切花の低温貯蔵による出荷調節をはかる。

切花の貯蔵方法

(ア) 切り前は花蕾長8~9cm程度の若切りとし、少しでも病害におかされものは除く。

(イ) 通常の出荷同様、箱詰め後、ポリフィルム(0.03mm)で箱ごと包み、冷蔵庫(0~2℃)に貯蔵する。なお、フィルムには1箱当り数ヶ所に針穴をあける。

(ウ) 貯蔵期間は長くても4週間程度とする。

(エ) 貯蔵中は冷蔵庫内の温度変化に留意し、定期的に貯蔵状態を確認する。

(4) 当該事項にかかる試験研究課題名

新てっぼうゆりの品種比較試験

(5) 参考文献・資料

- 1) 昭和56年度花き試験成績概要（北日本・山陰地域）
- 2) 昭和56・57年度花き試験成績書（岩手園試）
- 3) 昭和56年度花き試験成績概要（関東、東山地域）

(6) 試験成績の概要

表-1 開花状況

30株当り

試験区	項目 株数	開花株		枯死 株数	収穫 本数	1株当り 収穫本数
		数	率			
① 銀河1号	30株	29.5株	98.3%	0.5株	46.0本	1.5本
② " 2号	30	30.0	100.0	0	48.0	1.6
③ " 3号	30	30.0	100.0	0	51.0	1.7
④ 千曲の雪	30	29.5	98.3	0.5	34.0	1.1
⑤ 花園	30	30.0	100.0	0	49.0	1.6
⑥ 北沢早生	30	29.5	98.3	0.5	43.5	1.5
⑦ " 中生	30	30.0	100.0	0	39.0	1.3

表-2 切花品質

試験区	項目 草丈 (cm)	茎径 (mm)	葉の大きさ (cm)		第2次 花梗数	花数 (個)	切花重 (g)
			長さ	巾			
① 銀河1号	154.2	7.5	8.9	2.3	0.6	2.9	187.7
② " 2号	172.3	7.8	8.5	2.2	0.9	3.9	240.9
③ " 3号	166.0	8.2	8.5	2.2	0.8	3.7	232.1
④ 千曲の雪	140.1	7.2	10.7	1.9	0.6	3.4	176.5
⑤ 花園	170.2	7.7	9.0	2.3	0.5	3.3	220.9
⑥ 北沢早生	159.5	7.1	10.3	1.9	0.2	2.5	182.7
⑦ " 中生	166.6	7.1	10.7	1.7	0.1	2.6	198.7
⑧ 銀河1号	112.7	8.7	10.4	2.4	0.3	3.0	157.1

注) 草丈は止葉までの草丈、茎径、葉の大きさは止葉から約30cm下を測定、参考区は実生1年目(昭56)の数値、茎径、葉の大きさは草丈の中央部を測定

表-3 花数別収穫本数 (a 当り)

単位: 本

試験区	1 輪			2 ~ 3 輪			4 輪以上			合 計		
	1年目	2年目	計	1年目	2年目	計	1年目	2年目	計	1年目	2年目	計
① 銀河1号	50	1,200	1,250	1,900	2,000	3,900	550	1,400	1,950	2,500	4,600	7,100
② " 2号	1,100	600	1,700	1,400	2,050	3,450	300	2,150	2,450	2,800	4,800	7,600
③ " 3号	600	350	950	1,250	2,700	3,950	400	2,050	2,450	2,250	5,100	7,350
④ 千曲の雪	550	1,050	1,600	1,500	1,300	2,800	600	1,050	1,650	2,650	3,400	6,050
⑤ 花 園	1,350	1,200	2,550	950	1,950	2,900	300	1,750	2,050	2,600	4,900	7,500
⑥ 北沢早生	100	1,650	1,750	650	1,700	2,350	350	1,000	1,350	1,100	4,350	5,450
⑦ " 中生	50	900	950	550	2,200	2,750	250	800	1,050	850	3,900	4,750

注) a 当り定植株数 3,000 株として算出

表-4 時期別収穫割合

単位: %

試験区	月	7 月				8 月						平均開花日
		3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
① 銀河1号			13	2	14	24	22	16	7	1	1	8月4・2日
② " 2号				1	1	7	12	18	35	26		8月15・4日
③ " 3号			2	5	19	19	19	19	14	3		8月6・5日
④ 千曲の雪			9	4	19	21	9	15	9	12	2	8月6・0日
⑤ 花 園			3		4	32	14	20	21	6		8月9・3日
⑥ 北沢早生			3	2	8	29	24	14	18	2		8月7・8日
⑦ " 中生		3	3			25	13	21	23	8	4	8月10・6日

県外における試験成績

切花の長期貯蔵に関する試験 (千葉農試 昭56)

表-5 新鉄砲ゆりの貯蔵効果

8月31日採花貯蔵

貯蔵期間	入 庫 時			出 庫 時			所 要 日 数			
	花の大きさ		生体重	花の大きさ		生体重	開花 初期	開花	完全 開花	凋花 始め
	花蕾長	蕾巾		花蕾長	蕾巾					
2 週 * CONT	11.9cm	2.4cm	56.9g	12.2cm	2.4cm	69.8g	3日	4日	6日	8日
4 週 * CONT	12.4	2.6	48.6	左に同じ			4	5	6	10
6 週 * CONT	14.8	3.0	48.7	15.4	3.1	48.9	1	2	4	5
8 週 * CONT	13.6	2.6	59.6	左に同じ			2	3	4	8
10 週 * CONT	12.8	2.8	57.8	13.9	3.2	57.8	1	2	5	6
12 週 * CONT	10.5	2.2	72.0	左に同じ			4	5	6	10

*CONTは各貯蔵終了時に合わせて採花した切花

品種: 花園 貯蔵方法: 0℃冷蔵庫 0.03mm厚のポリシート包装、垂下式貯蔵

要約: 4週間まで貯蔵可能

表-6 てっぼうゆりの貯蔵効果

区	貯蔵 期間	出庫時				出庫後1週間					
		花の大きさ		葉色	萎凋	花の大きさ		開花日	凋花率	葉色	萎凋
		花蕾長	蕾径			花長	花径				
無包装	4週	11.1cm	2.7cm	3.2	3.0	9.5cm	7.1cm	3日	0%	3.0	3.5
	6	10.9	3.0	3.0	3.0	7.9	8.2	4	0	2.5	3.0
	8	10.8	2.4	2.5	1.5	10.2	7.3	2	74.5	2.0	2.5
ポリ包装	4	10.7	2.3	3.5	3.5	9.5	7.1	4	0	3.5	3.5
	6	10.9	2.4	3.5	3.5	8.5	8.6	3	0	2.5	3.0
	8	11.2	2.4	3.5	3.0	10.9	7.7	2	45.5	3.0	3.0

品種：ひのもと、1月23日出荷適期の状態で採花

貯蔵方法：0℃冷蔵庫1.2m×1.2m×0.05厚、ポリ袋（直径1mmの針穴6穴）に包装、垂下式貯蔵

葉色 4：収穫時と同じ 3：1部変色 2：3より変色大 1：変色黄化

萎凋 4：収穫時と同じ 3：やや認められる 2：認められる 1：茎葉の萎凋甚しい

要約：無包装区はポリ包装区に比べ葉の変色、萎凋が著しい。貯蔵期間が長いほどその傾向顕著

表-7 新鉄砲ゆりの切り前と貯蔵性

8月31日採花貯蔵

貯蔵 期間	切り前	草丈	入庫時				出荷時				開 花 初 期	開 花	完 全 開 花	凋 花 始 め
			葉数	花の大きさ		生体重	花の大きさ		生体重					
				花蕾長	蕾巾		花蕾長	蕾巾						
2	早切り	65 ^{cm}	31枚	8.2 ^{cm}	1.8 ^{cm}	54.2 ^g	8.3 ^{cm}	1.8 ^{cm}	66.1 ^g	5日	6日	7日	8日	
	適期	68	28	11.9	2.4	56.9	12.2	2.4	69.8	2	3	5	7	
	遅切り	70	32	14.4	3.1	58.5	14.8	3.5	71.3		1	2	5	
4	早切り	50	20	11.1	2.5	36.1	11.6	2.6	42.6	2	3	-	5	
	適期	49	23	13.6	2.9	47.0	14.4	3.0	42.0	1	3	-	7	
	遅切り	60	26	15.8	3.3	49.0	16.4	3.3	50.6	2	3	-	5	
6	早切り	68	28	8.6	1.9	77.0	9.9	2.0	81.3	4	6	7	10	
	適期	61	23	12.8	2.8	57.7	13.9	3.2	62.6	1	2	3	6	
	遅切り	61	28	13.8	3.3	60.0	15.0	4.2	63.0		1	2	5	

出庫日：2週間区9月14日、4週間区9月28日 6週間区10月21日 品種：花園

貯蔵方法：2℃冷蔵庫、0.03mm厚ポリ包装、垂下式貯蔵

要約：貯蔵期間に関係なく、早切り区ほど出荷後の花持ちのよいことから、貯蔵には開花時の花が小さくならない程度の早切りがよい。本実験の4週間区は貯蔵中に何らかのトラブルがあったものと思われる。